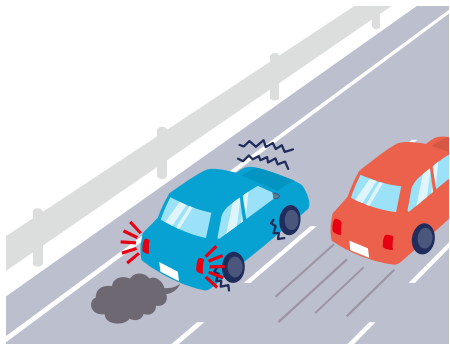


高速道路でトラブルが発生したら!

高速道路には、一般道と異なる危険があります。事故や故障などが発生した時は、まず身の安全を確保し、冷静に行動することが肝心です。ここでは高速道路でトラブルが発生した場合にすべきことを紹介します。

1 車の異常を感じても急ブレーキ、急ハンドルは厳禁!



バンクや故障などで車の異常を感じた時、急ブレーキをかけるのは大変危険です。危険を回避しようとして急ハンドルを切るのも多発事故を誘発するので厳禁です。

2 ハザードランプを点灯させて路肩に車を寄せる



追突事故防止のため、ハザードランプを点灯させ緩やかに減速します。できるだけ路肩や非常駐車帯に車を寄せて停車します。

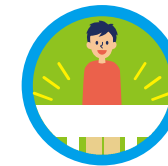
車内に残らない!



路上に立たない!



安全な場所で待機!



3 身の安全を確保する



後続車に十分注意して停止表示器材を車から50m後方に設置し、同乗者と一緒に安全な場所を確認して避難すること。車内や車の前後、路上にいて後続車にはねられる死亡事故が多発しているので必ず車から離れてください。

4 トラブルを通報。指示を待つ(携帯電話の場合)



事故の場合、ケガ人がいたら119番に通報し、次に110番に通報。そしてレンタカー会社に連絡し指示を待ってください。故障して車が動かなくなった場合は、110番か非常電話、または道路緊急ダイヤル#9910に通報し、レンタカー会社に連絡してください。

非常電話の使い方

携帯電話が通じない場合は非常電話を利用すること。高速道路の約1kmおき(トンネル内は約200mおき)に設置されています。



1.扉を開ける

扉をあけて受話器を上げるだけで道路管制センターにつながります。



2.状況を伝える

故障・事故・救急・火災を示すボタンがある場合、当てはまるボタンを押す。ボタンがないタイプは受話器を上げただけで通報した位置がわかるようになっていますから安心してください。



3.指示を待つ

交通管理隊が現地に急行します。到着するまで安全な場所で待機してください。

画像提供 NEXCO西日本

事故を起こしたら

110(警察)



ケガ人が出たり
車両火災が起こったら

119(救急車・消防車)



高速道路でのトラブル

0120-924863(ネクスコ西日本)



緊急事態が起こったら、まず警察と各レンタカー会社の 事故対応窓口へ連絡してください

そのまま運転を続けると
法律違反になり保険対象外になります。